

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		利用者、ご家族からのコメントより、外出支援や運動、機能維持への取り組みを増やして欲しいとの要望があった。	新型コロナウイルス感染防止の観点から、施設としての取り決めはあるものの、室内・ベランダ・施設敷地内を利用して可能な取り組みを展開する。	レクリエーションによる楽しみや脳トレ、座位での集団体操、散歩や趣味活動の機会提供の時間を設ける。日々の様子観察の中で必要と思われる個別の取り組みにも敏感に取り組んでいく。	6か月
2		面会制限や行事報告の内容に詳細を欠いていたこともあり、施設内での生活状況の詳細がご家族へ伝わりにくい。	ご家族の関心事や心配事を把握し、入居者様の現状をお伝えする。	情報提供の手段として、毎月の各ユニット通信やお便り、電話の機会を利用してご家族の関心事に対応する。	12ヶ月
3		職員を育てる取り組みについて、事象や就業環境により必要な研修などに取り組むことが出来ない。	日々の介護支援の中で支援方法や考察の指導を行っていく。	管理者や現場のベテラン介護員を中心とし、視点の置き方や動作などの指導を根拠に基づいて指導する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月